トレーシングレポート（がん薬物療法（共通））の作成について

今回、がん薬物療法を受けている患者用のトレーシングレポートを作成しました。その意図は「もっと気軽に患者情報を提供して欲しい」の一言に尽きます。がん薬物療法におけるトレーシングレポートは、他のケースと比較してハードルが高いという声が一般的なようです。その原因となっている背景に、何をどのように確認すればよいかわからない、情報をどのように記載したらよいかわからない、などがあるといわれています。そのハードルを少しでも下げることができればという思いから、今回のトレーシングレポートの作成に至りました。今までより気軽にトレーシングレポートを作成していただき、積極的に病院薬剤部に送って欲しいと思います。また、「副作用がない」という報告を送ることに意味があるのか、病院にとって必要ないのではないかという不安の声を耳にすることがあります。「何もなかった」というのも貴重な情報になりますので、何も不安に思わず積極的な情報提供をお願いしたいと思います。